

# 令和4年度 事業報告

## 1. 総括

令和4年4月1日から、法人の事業基盤である「ぴっころ保育園」が「ぴっころこども園」として新たにスタートしました。「ぎんどう保育園」は5年目を迎え、この2園とも地域の皆様に支えられてお陰様で経営的にも順調であることに對し地域の皆様、自治体並びに関連する方々に深く感謝申し上げる次第です。

今年度の活動の中で、一番評価できることとして新たにスタートした幼保連携型認定こども園の運営が順調であった事、複数名の保育教諭が産休・育休で欠員が生じて園児の受入に制限があったにも関わらず、収支面でも何とかプラスで乗り切れたことは今後の経営に繋がる成果であると考えます。

また、今年で6年目を迎えた「花南わんぱく学童クラブ」は、新1年生が24名入所する等着実に入所児童数が増え、一方退所児童が減少することで収容児童数が80名の大台に乗り、待機児童数対策で地域に貢献することが出来ました。

なお、今年で3年目となった新型コロナウイルス感染症が年度の後半に何とかその出口が見えてきました。しかしながら福祉事業の施設は感染リスクの非常に高い職場であるにも関わらず、社会福祉法人の役割として医療の最前線に対応する保護者をはじめ、休業が出来ない職場に就労している保護者の皆様方の大事なお子様をお預かりし、感染防止対策に万全を期しながら全職員が一丸となって安心安全な運営に取り組んできたことは評価に値することと考えます。

当法人の基本方針に掲げた6つの方針が、一步一步ではあるが着実に実践できていると共に、今年度も3施設ともに収益面を含む経営全般で、何とか当初の目的を果たすことが出来ました。これも一重に職員一同の努力と関係各位のご尽力の賜物であると感謝するものです。

次年度は、3施設ともに大きなイベントや取り組みの予定がないことから、安心安全な運用に向けた取り組みは基より、さらなる飛躍に向けて検討・立案する年とし、引き続き「新型コロナウイルス感染症」対策への対応も併せて取り組みながら、より一層地域に貢献できる様に取り組んで参ります。

### <理念>

利用者の皆様、地域の皆様とともに

- 一 地域に根差した活動で信頼・愛される
- 一 夢と希望を語り合える開かれた
- 一 仕事に誇りと生き甲斐を持ち成長し続ける

社会福祉法人を目指します

### <基本方針>

- 1) 経営の基盤づくりと安定を図り、継続的な事業の維持向上に努める
- 2) 利用者とその家族に寄り添い、質の高い福祉サービス提供と支援を行う
- 3) 関係機関と連携を密にして地域福祉の推進と向上に努める
- 4) 職員が働きやすい職場と風土の醸成とともに個々の能力が発揮できる人材を育成する
- 5) 開かれた法人として情報開示、情報提供を通じて透明性に努める
- 6) さらなる地域貢献に向け、新たな事業計画を策定し推進する

## 2. 法人の概要

- (1) 法人名 社会福祉法人ちひろ会  
 (2) 所在地 岩手県花巻市諏訪町二丁目4番地7  
 電話番号 0198-29-5722 FAX 0198-29-5744  
 メールアドレス [pikkorohoikuen@j-chihirokai.or.jp](mailto:pikkorohoikuen@j-chihirokai.or.jp)  
 ホームページアドレス <http://www.j-chihirokai.or.jp/>
- (3) 認可年月日 平成23年6月29日 (岩手県指令地福第266号)  
 (4) 設立登記年月日 平成23年7月1日  
 (5) 法人が行う事業 第二種社会福祉事業  
 ・ 幼保連携型認定こども園の経営  
 ・ 一時預かり事業  
 ・ 放課後児童健全育成事業 (学童クラブ)  
 ・ 小規模保育事業
- (6) 施設名称 びっころこども園 利用定員 75名 (令和4年4月1日事業開始)  
 花南わんぱく学童クラブ 利用定員 75名 (平成29年4月1日事業開始)  
 ぎんどろ保育園 利用定員 12名 (平成30年5月1日事業開始)

## 3. 役員の状況

役職名	氏名	役員の資格(該当する欄に○)					現任期 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	備考
		学識 経験者	地域 福祉 関係者	施設長 等	その他	財務		
理事長	藤原 勝				○		令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	
理事	岩崎 安男		○				令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	
理事	小原 清志		○				令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	
理事	小瀬川ちはる			○			令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	
理事	川村 妙子		○				令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	
理事	三井 信義	○					令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	
監事	小原 康裕					○	令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	
監事	佐藤 洋子	○					令和3年6月18日 令和5年度定時 評議員会開催日	

定款上の定数 理事6名 監事2名

#### 4. 理事会及び評議員会の開催状況

開催年月日	出席者 /総数	議 題	欠席者氏名
第1回理事会 (決算理事会) R4.6.1	6/6	<p>&lt;報告・承認事項&gt;</p> <p>1. 令和4年度のこれまでの主な事業実績について</p> <p>2. 令和3年度勤勉手当及び処遇改善手当の支給執行状況について</p> <p>3. ぴっころこども園創設建設工事の収支について</p> <p>&lt;決議事項&gt;</p> <p>1. 令和3年度決算報告</p> <p>2. 令和4年度1次補正予算案について</p> <p>3. 定款の改正(案)について</p> <p>4. 評議員会開催日程(案)と議案(案)について</p>	
定時評議員会 R4.6.23	6/7	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <p>1. 令和3年度決算に係る内部監査結果について</p> <p>2. 令和3年度事業報告について</p> <p>3. 令和4年度の予算並びに事業計画について</p> <p>4. 令和4年度のこれまでの主な事業実績について</p> <p>5. ぴっころこども園創設建築工事の収支について</p> <p>&lt;決議事項&gt;</p> <p>1. 令和3年度決算報告について</p> <p>2. 定款の改正(案)について</p>	藤田 岩夫
第2回理事会 R5.3.16	6/6	<p>&lt;報告・承認事項&gt;</p> <p>1. 令和4年度のこれまでの主な事業実績について</p> <p>&lt;決議事項&gt;</p> <p>1. 令和4年度第2次補正予算(案)について</p> <p>2. 令和5年度事業計画(案)について</p> <p>3. 令和5年度予算(案)について</p> <p>4. 規則規程の改正(案)について</p> <p>5. 規則規程の改正・新設(案)について</p>	

#### 5. ぴっころこども園の運営活動状況

##### <保育理念>

「一人ひとりが輝く」

##### <保育理念の要旨>

##### 1) 子どもの尊厳を守り自主性を伸ばす場を提供する

ア 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目標とし、その基礎となる乳幼児期の特性に合わせた保育内容及び環境を設定し実践する。

イ 人権を尊重した保育を重んじ、一人ひとりの発達や特性を踏まえた支援を行う。

##### 2) 保護者との連携を密にし、子どもの育成にあたる

ア 日常の保育に関連した様々な機会を活用し、子どもの日々の様子や家庭状況を伝達しあい、信頼関係を深めたうえで子どもの最善の利益を考慮した保護者への働き掛けを行う。

イ 保育所保育の意図を説明する機会をもち、保護者と保育についての相互理解を図りながら、保護者の子育てを自ら実践する力の向上を支援する。

##### 3) 地域との連携を密にし、子どもの育成にあたる

ア 地域のニーズを把握し関係機関と連携を取りながら子育て支援に努める。

イ 建物内事業所との交流を持ち、世代交流や社会性を学ぶ場を提供していく。

#### 4) 保育の仕事に誇りを持ち保育技術の向上に日々努める

ア 職員一人ひとりの倫理観、人間性、保育職員としての自覚と責任の理解をもって職務にあたるよう、年3回の人事考課、年2回の自己評価を行い資質の向上を図る。

イ 職員教育体制、園内外の研修により保育技術を身に付け実践できるよう園全体で具体化し取り組む。

### <主な取り組みと成果>

#### 1) 子ども主体の保育

昨年に引き続き日々の活動の中で「自分で考える」「協同で考える」等子どもの意見や思いを引き出す機会を設定し、活動実践に取り組む意識は定着していると評価できる反面、意思表示が不十分な未満児クラスでは一人ひとりの気持ち・意思を受け止めながら活動に向けた姿勢は向上しつつあり、今後も継続しながら考察を行っていく。

#### 2) ドキュメンテーションへの取り組み

ドキュメンテーションの取り組みを始めて1年が経過し、改めて保護者に対しドキュメンテーションについてのアンケートを実施した。

・我が子がクラスの中でどのようにみんなと関わりを持っているか、また活動の様子が見えてよい。

・子どもに対しての接し方や言葉掛けが写真を見て解り参考になる。

・ハサミの使い方が下手であったが、持ち方や切り方を写真で見ることで家でも遊びを通してハサミを上手に使えるようになった。

・我が子だけの園での様子が知りたいのでお便り帳のほうが良かった。

時間がなくて写真しか見ない、ゆっくり字が読めない等の感想も散見された。

以上のことから、ドキュメンテーションを取り入れた目的の一つである家庭の養育力支援として、我が子だけの様子を知りたいとか忙しくてゆっくり見ていないと回答した保護者に対してどのように理解を深めていくかが今後の課題となる。

### (1) 入所定員・入所現員

#### 1号認定

年 齢		3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
定 員		5 人	5 人	5 人	15 人
現員 (R 4.4.1)	計	2 人	2 人	2 人	6 人
現員 (R 5.3.3 1)	計	2 人	2 人	2 人	6 人

2号・3号認定

年 齢	受入種別	0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	合 計
定 員		10人	20人	10人	20人	60人
現員 (R4.4.1)	標準	4人	19人	12人	23人	58人
	短時	0人	3人	0人	0人	3人
	計	4人	22人	12人	23人	61人
現員 (R5.3.31)	標準	9人	18人	13人	21人	61人
	短時	0人	5人	0人	2人	7人
	計	9人	23人	13人	23人	68人

(2) 延長保育の実績

月	受入日数	延べ人数
4	22日	60人
5	23日	54人
6	26日	68人
7	25日	75人
8	26日	77人
9	24日	112人

月	受入日数	延べ人数
10	24日	95人
11	24日	83人
12	16日	44人
1	23日	70人
2	23日	127人
3	26日	120人

計 985人  
 前年実績 1,193人  
 前年度比較 △208人

(3) 一時預かり保育の実績

月	受入日数	延べ人数
4	0日	0人
5	0日	0人
6	0日	0人
7	0日	0人
8	0日	0人
9	0日	0人

月	受入日数	延べ人数
10	2日	2人
11	1日	1人
12	1日	1人
1	0日	0人
2	2日	2人
3	1日	1人

計 7人  
 前年実績 29人  
 前年度比較 △22人

(4) 職員の状況 (4月1日時点)

職 種	施設長 ・園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	常勤 保育教諭	講 師	常勤 看護師	事務長
人 数	1	2	1	5	4	1	1
職 種	副主幹 栄養教諭	調理員	臨時 調理員	参与			
人 数	1	1	1	1			
						合 計	19名

(5) 地域との連携・交流状況

実施年月	実施内容	備 考
令和4年 7月	夕涼み週間 (盆踊り、出店 他)	コロナの影響で地域交流自粛
令和4年 9月	運動会	〃
令和4年 9月	諏訪神社お祭りに参加 (神輿)	中 止
令和4年10月	諏訪地区文化祭に出品	中 止
令和5年 1月	生活発表会 (こども園遊戯室)	コロナの影響で地域交流自粛
令和5年 1月	みずき団子作り	〃

(6) 苦情内容および解決結果状況

発生・解決日	内 容
該当なし	

6. 花南わんぱく学童クラブの運営活動状況

<支援の理念>

「一人ひとりが輝く」

- 1) 子供の尊厳を守り、自主性を伸ばす場を提供する
- 2) 保護者と地域の連携を密にし、子供の育成にあたる
- 3) 学校、地域との連携を密にし、子供の育成にあたる

<今年度の取組目標>

- 1) 運用開始5年間の経験を基により精度の高い運用と経営基盤の確立を目指す
- 2) 2クラス制の運用確立と安心・安全な運用を心がけ日々の運用を推進する
- 3) 保護者と地域及び学校との連携を密に、児童に関する情報等を共有し相互に支援を行う
- 4) 支援員のスキルアップを図るため、セミナー等の受講を推進し、自己研鑽に努める
- 5) 学童施設の活用方法について検討し、より有益な活用を実践する
- 6) 支援目標

- ① 自主性を育む
- ② 思いやりを育む
- ③ 挨拶をきちんと出来る様にする

#### <主な取組と成果>

- 1) 開所6年目、2クラス制としてスタートし3年目を迎え、1年生から6年生まで在籍しています。
- 2) 今年度で3年目を迎えた新型コロナウイルス対応として、三密はもとより手洗い励行、マスク着用励行、併せていろいろなイベントの縮小、中止等子供たちにとっては我慢の年となりました。
- 3) 今年度より、子どもたちの役割として「花グループ」「畑グループ」「歌グループ」の3つのグループを設置し、子どもたちが自主的にグループ活動を行いました。
  - ・花グループ : 花の植え込み、生育観察、当番制による水やり
  - ・畑グループ : 畑の作物の作付け、生育観察、収穫
  - ・歌グループ : イベント毎のテーマ曲の選定と率先して歌唱
- 4) 当学童クラブの特色である日々のおやつ（土曜日は除く）は、隣接するこども園の厨房で作ったものを提供し、更に長期休み期間には給食を提供することで、保護者から高い評価をいただいています。
- 5) 長期休み期間中は恒例となった行事として、①ボランティアの方々による読み聞かせ ②お茶を楽しむ会 ③ぶんぶん駒と木製キーホルダー作り ④スイカ割大会 ⑤水中生物の観察会など盛り沢山のイベントを実施できました。  
 今年は初の試みとして、岩手大学との連携で理科教室を開催し、助手役の花巻東高の女子生徒も参加して子供たちは理科の楽しさについて新たに興味を持つことが出来ました。  
 また、コロナ禍の影響で子どもたちが一番楽しみにしている「ラ・フランス温泉でのプール遊びにバイキング」は保護者会の協力のもとで3年ぶりに実施し、保護者も一緒に金婚亭で食事をしました。  
 なお、花南コミュニティセンター主催の「3世代交流」等地域交流会は自粛により開催されませんでした。
- 6) 児童一人ひとりの保育についてその子に合った支援を行うために、小学校の担任の先生方との面談による情報共有や保護者との面談も継続して進めて参りました。今後も引き続きフォローして参ります。
- 7) 今年度も4年目となる食育の一環として野菜の栽培に挑戦しました。畑は地元の農家の方からお借りし、ボランティアとして自然農法（無農薬、化学肥料不使用）に精通した方による指導を受けながら、じゃが芋、さつま芋、枝豆、カボチャ（ハロウィン用）そして大根を栽培しました。  
 生育状況は、ホームページで随時公開し、成果として収穫したじゃが芋、さつま芋の一部は保護者に配りました。  
 今年も収穫したさつま芋は石焼き芋にして食べました。焼き芋は迎えに来た保護者にもお裾分けし、皆で甘くておいしいお芋を堪能しました。今年は収穫量がことのほか多かったことから、こども園の園児にも給食のおやつ等で振る舞うことが出来ました。来年も焼き芋が食べられるようにさつま芋を栽培したいと思っています。

(1) 入所定員（75名）・入所現員（4月1日時点）

種 別	1年生		2年生以上		合 計
	男	女	男	女	
通 所	12人	12人	30人	28人	82人
合 計	12人	12人	30人	28人	82人

(2) 延長保育の実績

月	利用日数	実人数
4	20日	29人
5	19日	31人
6	22日	33人
7	20日	32人
8	20日	36人
9	20日	27人

月	利用日数	実人数
10	20日	31人
11	20日	28人
12	20日	37人
1	19日	35人
2	19日	31人
3	22日	32人

前年度利用人数計 399人  
 今年度利用人数計 382人  
 前年度差 △17人

(3) 職員の状況（4月1日時点）

職 種	施設長	所 長	主 任 支援員	支援員	支援員補助	事務員
人 数	1	1	1	4	6	1
					合 計	14名

(4) 地域との連携・交流状況

実施年月	実施内容	備 考
令和4年7月	夕涼み会	コロナの影響で地域交流自粛
令和4年8月	花南地区コミュニティ（三世代交流）	〃
令和5年1月	みずき団子、かるた交流	地域の皆様方5名

(5) 苦情内容および解決結果状況

発生・解決日	内 容
該当なし	

7. ぎんどう保育園の運営活動状況

<保育理念>

「一人ひとりが輝く」

## <保育理念の要旨>

- 1) 子どもの尊厳を守り自主性を伸ばす場を提供する
  - ア 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目標とし、その基礎となる乳幼児期の特性に合わせた保育内容及び環境を設定し実践する。
  - イ 人権を尊重した保育を重んじ、一人ひとりの発達や特性を踏まえた支援を行う。
- 2) 保護者との連携を密にし、子どもの育成にあたる
  - ア 日常の保育に関連した様々な機会を活用し、子どもの日々の様子や家庭状況を伝達しあい、信頼関係を深めたうえで子どもの最善の利益を考慮した保護者への働き掛けを行う。
  - イ 保育所保育の意図を説明する機会をもち、保護者と保育についての相互理解を図りながら、保護者の子育てを自ら実践する力の向上を支援する。
- 3) 地域との連携を密にし、子どもの育成にあたる
  - ア 地域のニーズを把握し、関係機関と連携を取りながら子育て支援に努める。
  - イ 建物内事業所との交流を持ち、世代交流や社会性を学ぶ場を提供していく。
- 4) 保育の仕事に誇りを持ち保育技術の向上に日々努める
  - ア 職員一人ひとりの倫理観、人間性、保育職員としての自覚と責任の理解をもって職務にあたるよう、年3回の人事考課、年2回の自己評価を行い資質の向上を図る。
  - イ 職員教育体制、園内外の研修により保育技術を身に付け実践できるよう園全体で具体化し取り組む。

## <主な取り組みと成果と課題>

### 1) 教育及び保育内容に関する全体的な計画の取り組み実践

教育要領改訂と連携施設がこども園へ移行したことに伴い、保育課程を見直した。教育については「教育要領」及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を、保育については保育指針（主に養護）に基づき、全体的な計画を作成し新年度をスタートさせた。幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿については、理解を深めるためオンラインを含めた外部研修へ職員参加を積極的に促し、園内ではドキュメンテーションを通して10項目を捉えた保育実践となるよう職員の学びを促している。また、保育経過記録や転園に伴う保育記録についても厚労省より発出された要録を参考とし、様式や記入について実践を通し取り組んだ。

課題としては、保護者に対し園での様子をお便り帳からドキュメンテーションへ移行し保育内容を伝えていたが内容にタイムラグが生じてしまい、そこから保護者との会話や保育内容についての協議に繋げることが難しかった。今後は、保育内容や情報が視覚的且つリアルタイムに近い状態で、保護者へ伝えることができるようICT化を進めていきたい。また、その際は計画から評価についての理解が十分深められるよう、今後も積極的な研修参加や園内研修を通し時代に沿った支援や保育知識、技術の習得を園全体で進めていく。

### 2) 保育の魅力発信

社会的な課題である保育士不足を解消するためにも、保育の魅力や次世代福祉人材の育成を行うため保育の魅力発信を課題に挙げ取り組んできた。

今年度は、花巻市で企画された学生の施設見学ツアーや保育フェアへ積極的に参加しPRを行ってきたが、課題の解決には至っていない。

保育業界だけに捉われることなく情報発信の方法を学ぶ機会として、人材採用戦略セミナーにも参加したが、学びを活かすことができなかつた。今後も引き続き課題として取り組み、社会的に保育についての理解と魅力が伝わる方法や手段を模索していく。

(1) 入所定員・入所現員

年 齢	受入	0 歳児	1 歳児	2 歳児	合 計
定 員	種別	3 人	5 人	4 人	12 人
現員 (R 4.4.1)	標準	0 人	1 人	9 人	10 人
	短時	0 人	1 人	0 人	1 人
	計	0 人	2 人	9 人	11 人
現員 (R 5.3.3 1)	標準	2 人	2 人	6 人	10 人
	短時	0 人	1 人	2 人	3 人
	計	2 人	3 人	8 人	13 人

※定員内訳変更 (令和 4 年 4 月 1 日～10 月 10 日 1 歳児 6 人、2 歳児 6 人

令和 4 年 10 月 11 日～3 月 31 日 0 歳児 3 人、1 歳児 5 人、2 歳児 4 人)

(2) 職員の状況 (4 月 1 日時点)

職 種	園 長	副主任 保育士	常勤 保育士	臨時 保育士	非常勤 保育士	調理員	非常勤補 助・調理員
人 数	1	2	1	1	1	1	1
						合計	8 名

(3) 地域との連携・交流状況

実施年月	実 施 内 容	備 考
令和 4 年 5 月、10 月	花巻市福祉総合センター全体避難訓練	
令和 4 年 7 月、8 月	花巻市保育施設見学ツアー	7 月 13 名、8 月 11 名受入
令和 4 年 9 月	お神輿披露	社会福祉協議会各事業所
令和 4 年 9 月	合同運動会	びっころこども園合同
令和 4 年 10 月	ハロウィンパーティ	社会福祉協議会各事業所
令和 5 年 2 月	豆まき集会	社会福祉協議会各事業所

(4) 苦情内容および解決結果状況

発生・解決日	内 容
該当なし	